

《施設の自己評価項目》

高原保育園

		令和3年9月
	評価項目	評価
1	理事長の理念に基づき園が運営されているか	○
2	園の状況を踏まえた教育・保育目標等が設定されているか	○
3	園の教育課程の編成・実施の考え方について、職員間の共通理解がなされているか	○
4	幼保連携型認定こども園教育・保育要領について、個々の教職員が理解しているか	○
5	指導計画の立案と実施が適切になされているか	○
6	幼保連携型認定こども園教育・保育要領に沿った乳幼児の発達に即した指導がなされているか	○
7	乳幼児の病気やけが等の情報提供が行われているか	○
8	日常の健康観察や疾病予防のための取組、健康診断が実施されているか	○
9	避難訓練等を通して、教職員・園児の安全対応能力の向上を図るための取組がなされているか	○
10	特別な支援が必要な幼児のための施設や学校の利用者との交流が図られているか	○
11	園と医療・福祉などの関係機関との連携がなされているか	○
12	職員会議、ケース会議等が定期的に行われているか	○
13	園内研修が定期的に行われているか	○
14	園外研修に参加しているか	○
15	自己研鑽による職員の資質の向上が図られているか	○
16	自己評価が行われているか	○
17	園に関する様々な情報提供(園便り、参観日等)が行われているか	○
18	施設運営への保護者、地域住民の参画及び協力が行われているか	○
19	子育ての支援(延長保育、一時預かり等)が行われているか	○
20	遊具、玩具、絵本等が整備されているか	○

評価 ○…十分達成されている、△…取り組まれているが、成果が十分ではない、×…取組が不十分である

〈総合評価〉

引き続き、コロナ下での教育・保育が行われている。
 一つ一つを十分に行うにはどのようにすべきなのかが課題であり、自園なりの工夫が必要である。その選択が厳しいものとなっている。日々に追われる幹部や主担任と時間が限られている職員との協働をどのようにしていくのかがさらに問われている。